港区在宅医療・介護連携相談支援室
ニュースレター
Vol. 02
令和3年2月9日

新型コロナ感染症で知っていただきたいこと

注：濃厚接触者となった利用者への対応で他区で起きた事例について共有いたします。

介護サービス利用者の家族が新型コロナウイルスに感染。濃厚接触者となった利用者にPCR検査を受けてもらうと、結果は陰性でした。このためサービスを継続したところ、のちに利用者も症状が出現し、検査の結果、陽性であることが判明しました。感染対策が不十分だったため、サービス提供者も濃厚接触者となってしまいました。

どうして、こうなってしまったのでしょうか？

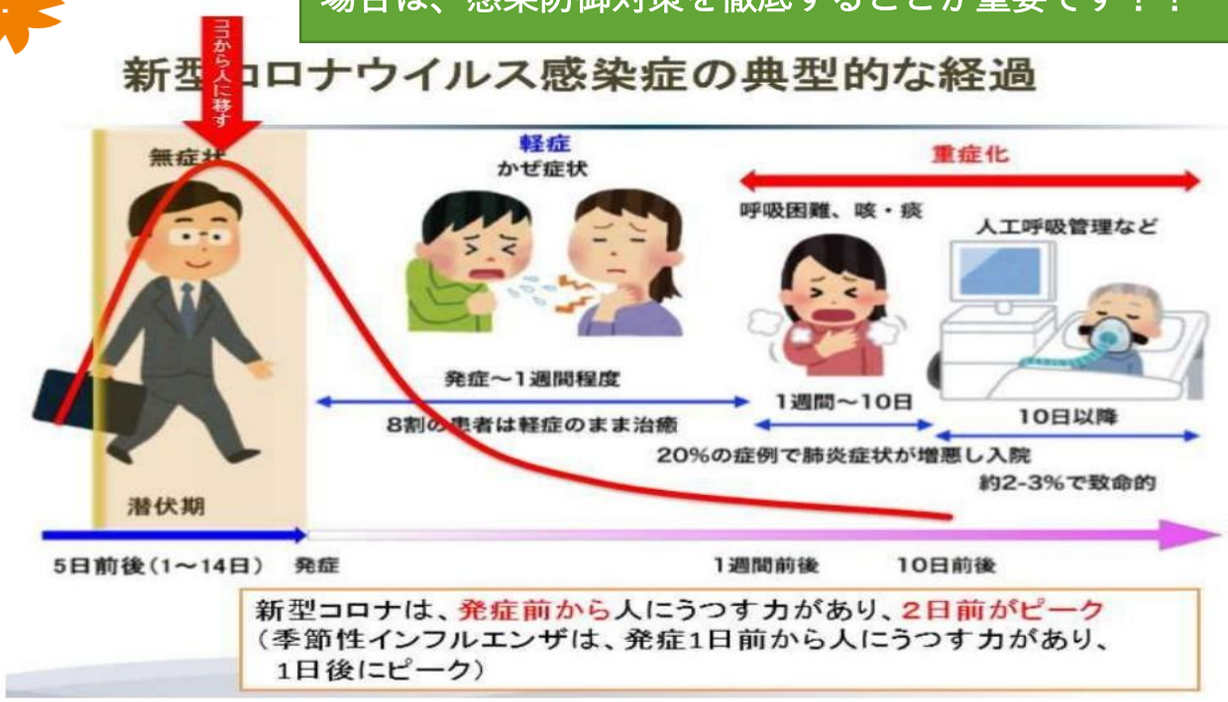
PCR検査「陰性（検出されない）」＝ 感染していないというわけではありません！！

なぜなら、100%正確な検査ではない（※現段階での検査ツールの中では最も精度が高い）からです。
PCR検査の精度は70%程度と言われています、つまり30%のあやまりもあるというわけです。
新型コロナウイルスは、身体の中でも、気管～肺の奥の方（上気道と下気道）で増殖していると考えられています。痰などの検体でないと検出されないケースも想定されます。

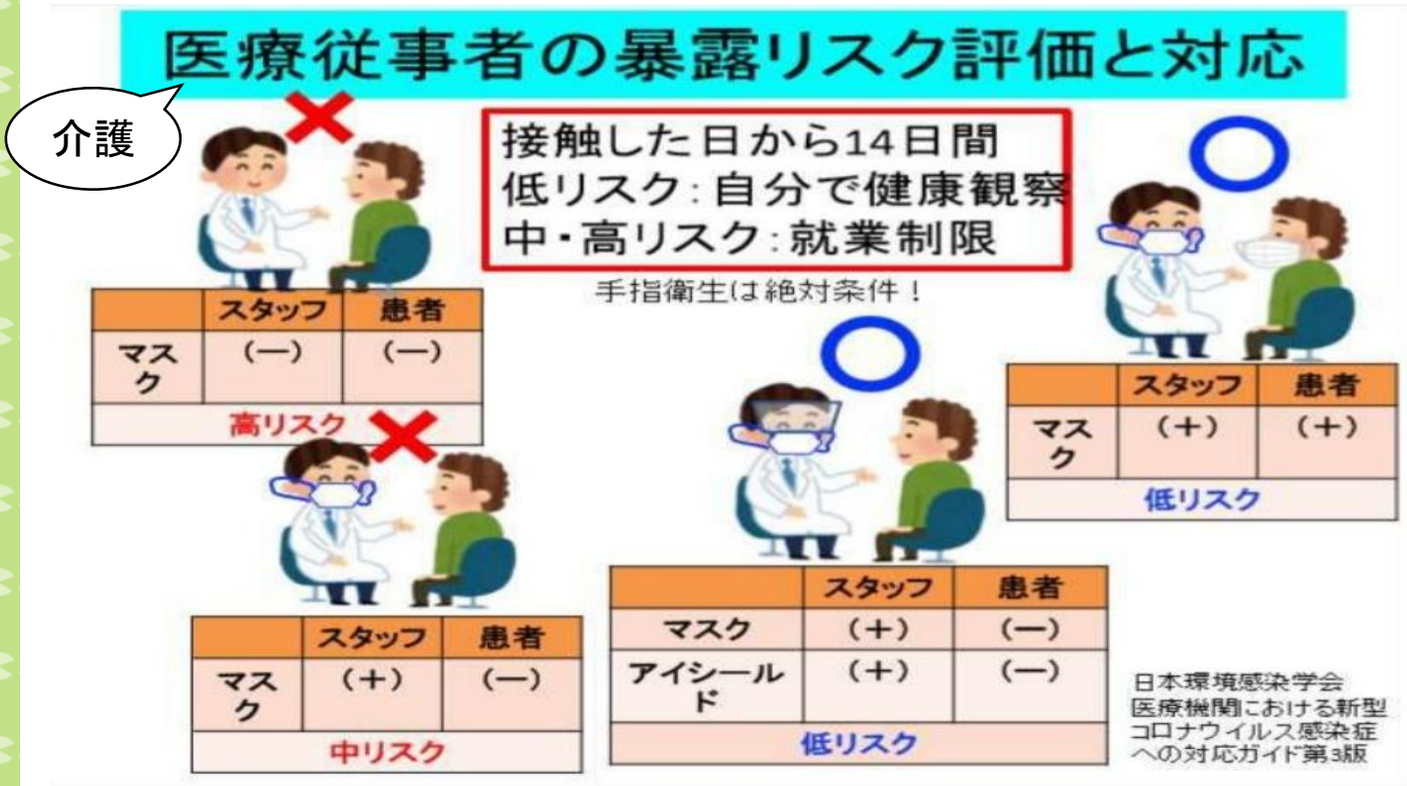
無症状の方に関しては、適切な検査のタイミングというものはなく、「陰性」であったとしても、PCR検査の精度上１００%ということはありませんので、結果の解釈は慎重に行う必要があり、感染状況も含めて総合的な判断が必要です。かならず医師や保健センターの判断を仰ぎましょう。

※ちなみに・・発症から３～４週間たってもPCR陽性が続く方もいらっしゃいます。その時期には感染性は極めて低いことが知られています。ごく微量のウイルスを保有しているだけ、もしくは治癒しておりウイルスの残骸がまだ体内に残っているだけという状況も考えられます。PCR検査が陽性かというよりも、感染力のある時期かで判断することが重要ともいえます。

※感染は潜伏期にも起こる可能性があります。検査結果に関わらず、14日間は隔離期間を守ること。やむなく対応する場合は、感染防御対策を徹底することが重要です！！



濃厚接触者に医療・介護従事者がならないために・・・



濃厚接触者とは・・・？

手で触れることのできる距離（目安として1メートル）でマスクなどの感染防御策なしで患者と15分以上接触があった場合

※ただし、換気など室内の状況によって変わるので自己判断は絶対にしないでください。

濃厚接触者になれば最終接触日の翌日から2週間自宅待機 となります。

自己判断せず、「こんな場合はどうだろう」という時はまずはご相談ください

一般電話相談窓口

港区保健福祉センター（保健師）

☎ **06-6576-9882**

今いちど確認を！

・眼・鼻・口からのウイルスの侵入を防ぐこと！

・症状のある・なしにかかわらず

1．近距離ではマスクを着け直接飛沫を浴びない

2．汚染した手や髪で眼・鼻・口に触れない

ご存じですか？　高齢者施設「スマホ検査センター」
http://www.pref.osaka.lg.jp/chiikifukushi/coronafukushi/index.html

マスク、アルコール消毒は感染防止に有効です。
利用者へのケア提供前後に必ず、手洗い・手指消毒を行いましょう！
※下記もご参照ください
http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=343

港区在宅医療・介護連携相談支援室について

かかりつけ医やケアマネジャーといった医療・介護サービス提供者からの在宅医療介護サービスに関する相談に対して、必要な情報提供、支援、調整を行います。
港区では平成28年度から大阪市の委託をうけて相談室業務を実施しています。ぜひご活用ください。

☎ 06-6574-3403（担当：紺田・こんだ）
HP　http://minato-med.or.jp/zaitaku/download/

多職種研修のご案内
「新型コロナウイルス感染防止対応について」
日時：令和3年3月2日　14：00～15：30
連携相談支援室ホームページをご参照ください